

市役所の電話番号



市役所代表(夜間休日とも受付) 32・2111

庁舎内 本庁業務時間 8:30~17:15

- 税務課 (固定資産税) 32・2115
- (市民税) 32・3821
- (納税) 32・3928
- (諸税) 32・3845
- 戸籍住民課 32・2112
- 市民生活課 (公共交通・生活支援) 32・2132
- 環境政策課 32・2147
- 保険年金課 (国民健康保険) 32・2113
- (医療・年金) 32・4120
- 生活福祉課 32・3931
- 児童福祉課 32・2114
- 介護福祉課 32・3507
- (障がい福祉) 32・2279
- 住宅課 32・2120
- 消防本部 32・0119
- 議会事務局 32・1359
- 都市整備課 32・2118
- まちづくり推進課 (高速道路) 32・3957
- (32・3815)
- 秘書広報課 32・3802
- 企画政策課 32・2127
- 人事課 32・3804
- 総務課 (統計) 32・2123
- (32・3803)
- 監査委員事務局 32・3805
- 選挙管理委員会 32・3807
- 財政課 32・2191
- 会計課 32・2116
- 農業委員会 32・3810
- 農林水産課 34・9292
- 農工商観光課 32・3809
- 危機管理課 32・2227
- 新型コロナウイルス感染症対策推進課 34・9014
- 建設管理課 32・2121
- 電算管理課 32・3808

出先機関

- 人権推進課 32・2122
- 小松島解放センター 32・5711
- 目佐解放センター 37・0358
- 泰地総合センター 33・0194
- 世代間交流健康センター 32・2595
- 学校課 32・3811
- 教育政策課 32・3813
- 生涯学習課 32・2700
- 市立図書館 32・1100
- 青少年健全育成センター 32・1398
- スポーツ振興室 (市立体育館) 38・1788
- 競輪局 32・0290
- 水道課 32・6188
- 環境衛生センター 32・8290
- 葬斎場 35・1059
- しらさぎ浄園 38・1452
- 総合福祉センター 33・2255
- 中央会館 32・2030
- 保健センター 32・3551
- 母子健康包括支援センター 38・7500
- サウンドハウスホール 32・3565
- 消費生活センター 38・6880

音声案内

- 防災行政無線 35・4000
- 火災の問合せ 32・5000

定期的に開かれている主な無料相談

◎印の実施日が祝日のときは、休みとなります。

名称	実施日	時間	会場	問合せ先
行政相談	2月25日	9:00~12:00	市役所2階 図書室	秘書広報課 ☎32-3812
人権相談	2月14日	13:00~16:00	市教育委員会2階(相談室)	人権推進課 ☎32-2122
もの忘れ相談	2月21日	13:30~16:00	市総合福祉センター	☎33-4040
耐震診断 耐震改修	◎毎週月~金曜日	8:30~17:15	市住宅課(市役所2階)	住宅課 ☎32-2120
心配ごと相談	◎毎月第1・第3火曜日	10:00~15:00	市総合福祉センター	☎33-2255
家庭児童相談 ひとり親家庭相談	◎毎週月~金曜日	8:30~17:15	市児童福祉課(市役所1階)	☎32-2114
消費生活相談	◎毎週月~金曜日	9:00~16:00	消費生活センター	☎38-6880
読書相談	図書館開館日	9:30~18:00	市立図書館	☎32-1100
無料法律相談	詳しくは、市総務課へご確認ください。			☎32-2123

実施日	時間	業務内容	場所
2月27日	8:30~17:15	市税・保険料の納付、納税相談	税務課 ☎32-3928

実施日	時間	業務内容	場所
2月27日	8:30~17:15	住民票・戸籍・印鑑登録等各種証明書の発行およびマイナンバーカードの交付	戸籍住民課 ☎32-2112

献血車がまいります

【日時】 2月17日(木)
10:00~正午 13:00~16:00
【場所】 小松島市役所

400mL献血にご協力ください。



新年度生募集

3月6日(日) 10時~11時 小学4年生
13時~14時 小学5年生
14時30分~15時30分 小学6年生(標準)
16時~17時 中学2・3年生

説明会ご希望の方は事前にメールまたは電話でお申し込みください。
他学年も無料体験実施中
ユアーズ進学塾
中田町中筋98-1 ☎0885-34-9730
mail@yours-shingaku.com

小松島市の木質素材応援コーナー

2021年の木質素材産業を振り返って



昨年、世間ではコロナ禍が最大の関心事だったことと思います。木材業界も「ウッドショック」という形でその影響を大きく受けました。製材はもとより合板もMDF(中密度繊維板)も需要に供給が追いつかない状況となり、木材だけでなく石油などの資材価格も高騰して厳しい対応を迫られました。一方でなかなかできなかった製品の値上げが徐々に認められ、業績を大きく伸ばす所もありました。価格の適正化、収益の改善から、労働環境や人材育成への投資を活性化させ、持続可能な産業としてさらに成長していく好機となるでしょう。